



# つくばイチゴつうしん 24号

令和6年8月 発行

つくば地域農業改良普及センター

このお知らせは、つくば地域（取手市、つくば市、守谷市、つくばみらい市、利根町）でイチゴを生産されている方に、必要な情報を提供するために発行しています。

良品を安定して生産するためには、**基本的な技術をしっかり押さえた栽培が必要**です。**困ったり、迷ったら基本に立ち返る**ことが大切です。

- **第一に健全な苗を育てましょう！**
- **確実に花芽分化させてから定植しましょう！**
- **定植前の生産畑の準備と活着の促進を図りましょう！**

本年も、昨年同様に、平年を大幅に上回る気温が続いており、育苗後半も暑い夏が予想されています。ほ場の条件によっては、遮光・通風・かん水など、これまで基本とされてきた技術であっても見直す必要があります。

## ●健全な苗を育てるには

生産の安定には苗の充実が大切。クラウン径 10mm 以上を目指しましょう。但し、大苗で頂果が充実し過ぎると腋果の上りが遅れる場合があるので注意しましょう。

### ・水やり（かん水）

**気温や培土の温度が低い朝方にたっぷり**行い、夕方には鉢土の中心に水が残り、表面が乾くような管理が基本です。日中でも極端に萎れるようならば、ポットの重さや根鉢を抜いて培土の乾き加減を確認して、日除け等により地温を下げてからかん水します。但し、夜間の土壤水分が多過ぎると徒長しやすく病害の発生にもつながります。

方法は、かかりムラが無くなるよう、多方向からの手漕水や底面給水がお勧め。

### ・遮光

**梅雨明け後の遮光は 30%程度が基本ですが、ハウス内の環境により加減**します。昨年のような高温条件下では遮光率を上げる必要がある場合もあります。温度を下げるには**循環扇や外気の取入れ、高機能フィルム・塗布剤の利用が有効**。

### ・徒長防止

土壤水分の管理に加えて、遮光や葉欠きなどの適切な管理作業、植物成長調整剤の利用などが有効。植物成長調整剤は使用方法を守り、濃度等を間違えないように。

### ・葉かき等の管理作業

**葉数を 4 枚程度で管理するのが基本**ですが、**高温が続くときは葉の展開が遅くなるので徒長や病害の発生がなければ 1 枚程度多めの管理が無難**。余分なランナーは抜き取り、葉数が多い時は一度に多くを欠かず、何回かに分けましょう。開花時期に 8～10 枚程度の葉数を確保できるよう、花芽検鏡時の葉数を参考にしましょう。

### ・病虫害等の防除

炭疽病、萎黄病、疫病等の発生防止のため、泥跳ね防止、風通し確保、薬剤による

予防を徹底し、発生を認めたら次の発生源になるので、周辺の株を含めてただちに除去し、全体を薬剤防除しましょう。うどんこ病・ハダニ類なども予防と早期防除が重要で、**まずは病害虫を生産畑に持ち込まないことが大切です。**

・施肥

窒素分量は、夜冷育苗で 80~120mg/株、普通育苗で 100~150 mg/株程度。

●花芽分化を促進するには

・夜温と花芽分化の関係

25℃を超えると花芽分化の誘導は困難。次の表のとおり、夜温を下げることで確実な分化と花芽の揃いをよくできます。(低温、低窒素、短日が花芽分化を促す)

夜温	0℃	5℃	13℃	18℃	25℃
日長	休眠	日長に関係なく花芽分化	日長の影響を受け低温ほど分化容易	日長が長いほど、分化しにくい	
苗質		低温ほど苗の充実が劣る	十分な日照で苗充実、分化も早まる	反応の品種間差が大きい	

・窒素切り（窒素中断）による花芽分化促進

肥効調節型肥料等により、育苗後半（とちおとめは8月中旬、いばらキスは8月20日頃）から窒素の施用を中断し、窒素を切ります（葉柄中硝酸イオン濃度 50ppm程度）。但し、窒素の切り過ぎは、株の充実不足や活着遅れ、芽無し（特にとちおとめ）のリスクが高まるので注意しましょう。

・夜冷処理による花芽分化促進

低温（15~18℃）と短日条件（暗期 16 時間）に人為的に制御します。通常は、8月上旬処理で 26~27 日、8月下旬処理で 20~22 日程度で分化します。

●生産畑の準備と活着を促進するには

- ・生産畑の土壌消毒と、残肥等を考慮した施肥を**適切に余裕をもって**行いましょう。
- ・定植前には**必ず花芽を確認**し、花芽分化した苗を**適期に定植**しましょう。
- ・定植の 10 日程度前に、ポット抜きやポリポットを脇から押さえて**根に刺激を与える**と発根しやすくなり、活着の助けになります。
- ・定植後 5~7 日程度は、**株ごとの毎日の差し水などで株元の土壌を湿らせる**ことにより活着を促しましょう。

**普及センターの花芽検鏡のご案内**

普及センターでは、今年も花芽検鏡を実施します。担当者の不在や混み合うことがあるので、**持ち込み前には、必ず電話等で事前のご予約をお願いします。**（☎ 029-836-1109）

※ 希望者には検鏡方法をお教えします。腋花の検鏡についてもご相談ください。

**県いちごグランプリ受賞者のご紹介**

- ・いばらキスの部 金賞 田村 寛 氏（つくば市、タムラベリー）

\*\*\*\*\*

【問い合わせ先】つくば地域農業改良普及センター（担当：関口、毛利）

電話 029-836-1109 FAX 029-836-1816